記者発表資料

令　和　7　年　8　月　12　日
北 上 川 下 流 河 川 事 務 所

“あらぶる雨”と“めぐみの雨” 「雨展」を開催
石巻市かわまち交流センター（かわべい）で8月19日～25日まで

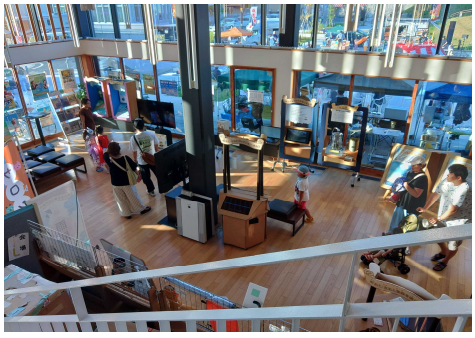
この企画展は雨に関しての色々な知識や川の環境の大切さを学習してもらうことを目的とした展示内容となっており、東北では6月24日の酒田市会場から始まり、11月の宮城県加美町会場まで、7会場の巡回展となります。
石巻会場での開催は東北で4会場目となり、夏休み期間を挟んだ絶好の期間でもありますので、お子様はもちろん、多くの方々にご覧いただければと思います。

1. 開催期間及び場所

開催期間：8月19日（火）～8月25日（月）【開催時間9:00～17:00】※土日も開催

開催場所：石巻市かわまち交流センター（通称：かわべい）
（宮城県石巻市中央2丁目11－12）

2. 開催概要　※写真は昨年度設置した様子を「イメージ」として使用しています。



いろんな装置が設置されています



見て、触れて「雨」を体験

〈発表記者会〉
石巻記者クラブ　古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼80
電話　：　0225－95－0194（代表）

副　所　長　　中野（なかの）　孝（たかし）　（内線205）

流域治水課長　岸本（きしもと）　愛香（あいか）（内線351）

あらぶる雨・めぐみの雨

雨展 AME・TEN















●雨と聞くとみなさんはどんなことを思い浮かべますか。●ザーザー、冷たいなど、耳や肌から伝わる感覚でしょうか。洪水によって被害を受けたこと、雨のおかげで水不足が解消したことを思い出す人もいるかもしれません。住んでいる地域、かかわっている仕事によっても想像することは人それぞれ異なるようです。●雨は身近な存在ですが、とても大きな力を持っています。時には猛威を振るい、私たちの暮らしに大きなダメージを与えます。一方、私たちの暮らしに欠かせない水を供給し、日々の生活を支えてくれています。●この企画展「雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～」では、これまで博物館の企画展などでもとりあげられることの少なかった「雨」について、「あらぶる雨」と「めぐみの雨」に注目し、新たな工夫をとりいれた方法で紹介します。●ナビゲータは、カミナリとともに天空から舞い降りてきたアラドラゴ、メグドラゴほか、7人の雨の神様たち。それぞれがもつ得意な技や表現で、雨の特性、雨の科学、雨と暮らし、雨と防災など、様々なトピックをとりあげて見せてくれます。●みなさんがふだん見ているのとは違った視点から、雨の不思議に迫ります。

水の巡回展ネットワーク

※本企画展は、新しいアイデアで出来上がった展示で構成されています。
まだ試験的なものもありますが、巡回を通じて、より良い展示へとレベルアップしたいと考えています。

jawanet
japan water exhibition network

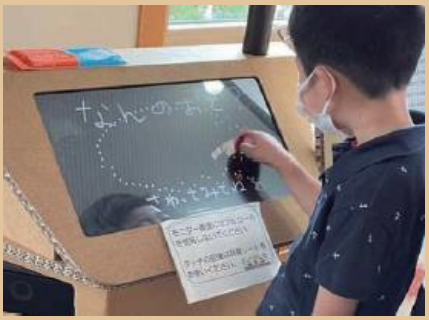
■この展示の企画制作：この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク(JAWANET)」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。

河川基金
公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。

①インタラクティブ映像「ひかり雨」「たまるたまる」
画面の前に立った人の動きに応じて光の雨が降ってくる映像展示



②映像展示「あめ音」「みず音コレクション」
雨や水に関する【音】のクイズの映像が流れる映像展示



石巻市かわまち交流センター(かわべい)

【開催期間】2025年8月19日(火)～8月25日(月)　【開催時間】9：00～17：00

【主催】東北地方整備局　【企画制作】水の巡回展ネットワーク　【協力】NPO法人 気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミューズ
東京学芸大学環境教育研究センター、東京学芸大学グラフィックデザイン研究室、
日本河川・流域再生ネットワーク、九州産業大学芸術学部メディアラボ 331
【展示内容】インタラクティブ映像、雨量計、標本ジオラマ、防災グッズ、記録映像 等





国土交通省　jawanet japan water exhibition network



